

リーダーズ

Council of leaders for
parenteral and
enteral nutrition

会 場

JA鹿児島県会館

会 期

2018年3月17日(土)
18日(日)

第6回 栄養管理指導者協議会学術集会 (PEN Leaders) 講演記録集

－ プ ロ グ ラ ム －

- 特別講演(岡田正メモリアルレクチャー)
「Medical Nutritionist への道」～私はなぜ栄養管理に身を投ずることになったのか～
- パネルディスカッション I
「必要とする患者に適正に胃瘻を用いた栄養管理を実施するためには」
- オープンパネルディスカッション:症例相談
- ポスターセッション(一般演題)
- パネルディスカッション II
「手術を受けた医療者と共に議論する栄養管理」
- パネルディスカッション III
「長期在宅栄養管理(症例報告)」
- ランチョンセミナー
「CV ポートの正しい使い方:挿入から管理まで」

プログラム

3月17日（土）

11:55～12:00	<p>開会挨拶</p> <p>当番世話人：白尾 一定（JCHO 宮崎江南病院 院長・外科）</p>
12:00～12:50	<p>特別講演：岡田正メモリアルレクチャー</p> <p>『Medical Nutritionist への道』～私はなぜ栄養管理に身を投ずることになったのか～</p> <p>座長：西口 幸雄（大阪市立総合医療センター 消化器センター）</p> <p>演者：栗山とよ子（福井県立病院 内科／NST）</p> <p>共催：ニプロ株式会社</p>
12:50～13:00	<p>（休憩 10分）</p>
13:00～14:45	<p>パネルディスカッション I</p> <p>「必要とする患者に適正に胃瘻を用いた栄養管理を実施するためには」</p> <p>座長：村松 博士（留萌市立病院 消化器内科） 小川 哲史（国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器外科）</p> <p>ディスカッサント 倉内 宣明（JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院 外科） 倉 敏郎（町立長沼病院 内科） 西山 順博（医療法人 西山医院） 佐藤 清治（佐賀県医療センター好生館 消化器外科）</p> <p>PD1-1 「『ハイブリッド PEG』というアプローチ」 伊東 徹（医療法人聖仁会 南薩ケアほすびたる 消化器内科）</p> <p>PD1-2 「本来 PEG の適応と思われる患者さんに PEG が選択されないのは何故か？」 伊藤 明彦（国立病院機構 東近江総合医療センター 消化器内科）</p> <p>PD1-3 「経鼻栄養チューブにて長期栄養管理を行っている胃瘻拒否の 1 症例」 木暮 道彦（公立藤田総合病院 外科）</p>
14:45～14:55	<p>（休憩 10分）</p>
14:55～16:00	<p>企業プレゼンテーション</p> <p>司会：吉田 祥子（JCHO 宮崎江南病院 地域医療連携室）</p>
16:00～16:15	<p>（休憩 15分）</p>
16:15～18:00	<p>オープンパネルディスカッション：症例相談</p> <p>座長：白尾 一定（JCHO 宮崎江南病院 院長・外科） 栗山とよ子（福井県立病院 内科／NST）</p> <p>ディスカッサント 海塚 安郎（製鉄記念八幡病院 救急・集中治療部） 樋口 則英（長崎みなとメディカルセンター 薬剤部） 林 宏行（日本大学 薬学部） 田中 誠（医療法人青仁会池田病院 外科）</p> <p>症例 1 「潰瘍性大腸炎術後に High output 症候群をきたし、水分管理が難渋した 1 例」 佐保 洸太（社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 栄養科）</p> <p>症例 2 「原因不明の小腸炎、吸収不良症候群および蛋白漏出性胃腸症患者の一例」 和田 朋子（製鉄記念八幡病院 薬剤部）</p>
18:00～18:10	<p>総会</p>
18:10～20:00	<p>ポスターセッション（一般演題）、情報交換会</p> <p>挨拶：油田 幸子（JA 鹿児島県厚生連 栄養管理科）</p>

3月18日(日)

8:30～10:45	<p>パネルディスカッションII 「手術を受けた医療者と共に議論する栄養管理」</p> <p>座長：目黒 英二（函館五稜郭病院 臨床検査科） 野呂 浩史（JCHO 大阪病院 外科）</p> <p>ディスカッサント 北出 浩章（関西医科大学 肝胆膵外科） 尾形 高士（神奈川県立がんセンター 消化器外科） 佐藤 弘（埼玉医科大学 消化器外科） 服部 昌和（福井県立病院 外科）</p> <p>PD2-1 「自損交通事故により、顔面骨骨折、膝蓋骨骨折して全身麻酔下気管切開・ 観血的整復固定術を受けた経験」 山本 祐二（つくばセントラル病院 救急診療科）</p> <p>PD2-2 「胃癌周術期は経腸栄養管理が有用で、経鼻栄養チューブ留置での管理は細径で 短期限定、計画性が重要である」 星 智和（医療法人 中島病院 外科・NST）</p> <p>PD2-3 「婦人科がんにて周術期栄養管理を行った1例」 山口 貞子（九州大学病院 栄養管理室）</p> <p>PD2-4 「消化器外科専門医が膵癌患者になって」 中井 宏治（関西医科大学 消化管外科）</p>
10:45～11:00	(休憩 15分)
11:00～12:00	<p>パネルディスカッションIII 「長期在宅栄養管理（症例報告）」</p> <p>座長：増本 幸二（筑波大学 小児外科） 上原秀一郎（日本大学 小児外科）</p> <p>ディスカッサント 山内 健（愛媛県立中央病院 小児外科） 中村 晶俊（麻生飯塚病院 小児外科）</p> <p>PD3-1 「長期間在宅静脈栄養を行っているヒルシュスプルング病類縁疾患の成人例」 曹 英樹（大阪母子医療センター 小児外科）</p> <p>PD3-2 「小児の栄養管理：現状での解決すべき問題」 北河 徳彦（神奈川県立こども医療センター 外科・NST）</p>
12:00～12:10	(休憩 10分)
12:10～12:55	<p>ランチョンセミナー 「CVポートの正しい使い方：挿入から管理まで」</p> <p>講師：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター）</p>
12:55～13:00	<p>次回学術集会のお知らせ・閉会挨拶</p> <p>第7回当番世話人：北出 浩章（関西医科大学 肝胆膵外科診療科長） 当番世話人：白尾 一定（JCHO 宮崎江南病院 院長・外科）</p>